



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分區 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「アマガエル」 蜘蛛 康介

＜会長の時間＞

これは私が外科医になって5年目の事です。7月のある土曜日の夜12時ころ当直の内科医から一人患者さんを診てほしいと電話がありました。患者さんは50代半ばの80kg以上ありそう



なかなか肥満体の男性でした。その日の夕方より胃から出血があり輸血用の血液がなくなりました。このままでは出血で死んでしまいます。何とか手術してもらえませんか、ということです。この時この病院には私と外科医1年目のK先生しかいませんでしたから「今夜は手術は無理です」と答えました。元来この病院には外科医は7人いましたが、ある事情があって院長はじめ部長、中堅の医師二人が退職していて、私と外科2年目のO君、1年目のK君の3人が残っていました。しかし生憎この日O君は急用があって泊りがけで出かけていました。

通常胃の手術は、執刀医と第一助手第二助手、計3人で行っていました。合計6本の手が必要だということです。ベテラン医師であれば二人ですでもやれます。手術時間は1時間半から2時間くらいで終わります。ほとんど経験のないK君と二人ではたして何時間で終わるか予測ができません。肥満体の人は脂肪が多いので当然出血が多くなります。輸血用の血液がないので、手術が終わる前に出血死する可能性は十分に考えられます。もしメスを取ればその時点からこの患者さんの責任はすべて私にかかります。手術に踏み切らなければ主治医は内科医で私には関係ありません。もし手術中に死亡すれば、客観的立場で考えた場合、この状況で手術を行った私の無謀さが非難的になるだろうと思います。手術はできませんと答えた私の判断は正常であったと思います。

私の答えに対して内科医は「実はこの人は社長さんで、今この人がいなくなれば会社は大変なことになる。何とか手術してもらえませんか。」と再度頼まれました。この人の命とさらに会社の命運まで私の手にゆだねられた状況です。私にとってはすごい重圧です。ここで逃げれば一生後悔するかもしれません。しかし、手術中に死亡ということになれば、それこそ非難の嵐に見舞われることになるのは目に見えています。手術が成功する可能性はとも少なくとも頭では分かっているし、理性はだめだと言っていました。ところが、心の奥底で理性を超えた何か第6感のようなものが動きました。そして思わず「手術しましょう」と答えてし

まっていました。

この決断はすごいプレッシャーでしたし、うまくやれるという自信はほとんどありませんでした。メスを取る前から「手術しましょう」と言わなければよかった、という後悔の念があり、おじけづいていました。常識的判断を無視して、直観というか心の声に従ってしまったことに対して、もう後戻りができない状況に対して、ほぞをかんでいました。

～時間となりましたので、続きは次回の会長の時間といたします。

＜幹事報告＞

◎RI日本事務局より

- ・9月のロータリーレートについて
1ドル 80円（現行どおり）

◎鈴鹿RC会長、インターアクト

年次大会実行委員長より

- ・第35回高インターアクト年次大会について（お礼）

◎はぐるま会 会長より

- ・第171回はぐるま会開催のご案内

日時 9月25日(火) 13:00スタート
場所 飛騨高山カントリークラブ
会費 3,000円 申込締切 9/10

◎(財)米山梅吉記念館より

- ・秋季例祭のご案内

日時 9月15日(土) 14:00～
講演「私の登った外国の山々」 渡辺 玉枝 氏
アトラクション ひとり語り「藤十郎の恋」大塚 良重 氏
会場 米山梅吉記念館ホール 静岡県駿東郡長泉町

◎高山市文化協会より

- ・ユネスコ世界遺産ペルー写真展・講演会のご案内

会場 高山市民文化会館
写真展 8月28日(火)～9月2日(日)
9:00～21:00 1階ロビー
講演会 8月28日(火)19:00開演 3階11講堂

＜例会変更＞

高山……… 9月13日(木)は、高山3RC合同

がバナー公式訪問例会のため

14日(金)12:30～高山グリーンホールに変更

奉仕を通じて平和を

例会報告

高山中央…………… 9月10日(月)は、高山3RC合同
 がバナー公式訪問例会のため
 14日(金)12:30～高山グリーンホテルに変更
 9月17日(月)は、法定休日(敬老の日)ため休会
 可児…………… 9月13日(木)は、がバナー公式訪問
 4クラブ合同例会のため
 12日(水)12:30～シティホテル美濃加茂に変更
 9月15日(木)は、南富川RC交流事業計画のため
 変更(会場等未定)
 9月27日(木)は、親睦移動例会のため
 26日(水)17:45 料亭松楓閣へ変更

<受贈誌>

台北東海RC(会報)、財団法人米山梅吉記念館(館報Vo20)、岐阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だよりNo50、号外①②)、公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO ニュースレター)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	38名	12名	50名	50名	100.00%
本日	39名	—	39名	50名	78.00%

<本日のプログラム> 会員スピーチ

山藏 真輔

5月より高山西ロータリークラブのお仲間に加えていただいた、有限会社山藏農園 山藏真輔と申します。入って間もないので自己紹介を中心にスピーチさせていただきます。

昭和55年11月23日、山藏家の長男として生まれました。祖父は私を幼少の頃より家の跡取りとして育てようとしていました。私には弟が二人いまして、父は男三人どの子が後を継いでもよいようにと考えていつも祖父とは対立しておりました。祖父には跡取りとして、父には跡取り候補の一人として育てられました。私も誰が後を継いでもよいと考えておりました。しかし、家業が農業ということもあり幼少の頃より植物を育て、収穫等を通し農業に興味を持っておりました。高校も斐太農林高校を選び、家は野菜農家でしたが当時はガーデニングブームだったのと父とは違うことがしたいと考え花卉栽培を選考しました。その当時から、人に使われることが嫌いで、夏休み等もバイトはせずに実習で習った花卉栽培を家の空いたハウスで実践して豊明市にある花卉市場に出荷していました。ガーデニング



ブームまっただ中だったのと飛騨の冷涼な環境のおかげで高品質なものができ、市場でも高く評価をしていただき高値での取引がされよいお小遣いになりました。今思うと今よりお金があったように思います……高校卒業後は、八ヶ岳中央農業実践大学校という農業者を育成する学校に進学する予定でしたが、高校三年生の夏休みにアメリカへ3週間ファームステイをする機会をいただきそのときに一緒にアメリカに行った全国50名の農業高校生のほとんどが大学へ進学すると聞き、大学に行くのもよいと考え、帰国後すぐに進路の先生に相談し、大学進学を考えました。父は猛反対でしたが花を出荷して得たお金があったので勝手に願書や試験費用、交通費を出して大学を受験しました。その結果、鹿児島大学農学部生物生産学科に入学が決まりました。その当時、山藏農園では有機栽培に力をいれており、ちょうど鹿児島大学に有機栽培に詳しい教授がいるのでその先生の下で勉強してくるなら行ってもよいと父に言われようやく入学を許してもらいました。しかし、そんなことは所詮口約束、入学当初はそんな気持ちは全くなかったのですが……2年になるときにコース選択があり、これから農業をやっていくなら生産も大事ですがそれ以上に作ったものを如何に売るかが重要になってくるのでは?と考え生産の技術ではなく、流通関係のコースを農業経営経済コース選択しました。そして、その中の研究室農業市場学講座を選びました。選んだ後に気づいたのが、奇しくも父が言っていた有機栽培に詳しい先生とと言うのが研究室の教授でした。結局、父の思惑通りになってしまいました。

大学4年間の生活を経て、高山に帰って来ました。その頃は弟は私が当初行くはずであった八ヶ岳中央農業実践大学校に進学しており、弟もまた、家業を継ぐ事を選んでいました。私は一足はやく家業を継ぎました。父も兄弟二人が家業を継ぐとなるとそれなりの準備が必要と考えたのか山藏農園を法人化しました。最初の1~2年は私も生産現場に行き生産を行っていましたが、弟が帰ってきて生産の方に入るようになってからは、どちらかというと販売の方に携わるようになりました。当初は、父より受け継いだ取引先が主体でしたが大雑把な契約が多く、生産者側に不利な契約が多かったので徐々に契約先を代え対等な取引がしやすい契約先を増やすことができようやくここ数年は安定した経営が出来るようになってきました。そして、数年前に末の弟も帰ってきて一緒に農業をやるようになりました。

飛騨の農家にかかわらず全国のだいたいの農家は農業協同組合通称農協のお世話になっていることが多く、就農後は農協青年部に誘われ所属しておりましたが、農家はどちらかというと生産者であって販売者は農協になっていました。その頃、山藏農園では半分以上が契約栽培で農協流通をしていなく、また有機栽培という特殊な栽培方法を行っていたため、飛騨農協の推進する栽培方法とは異なっていたため話も合わず、また会合に行っても親の悪口もしくは農協に所属しているのに農協の悪口くらいしか聞けず建設的な意見交換等を全く出来ずそのくせ、会の役職だけが回ってくるという状況だったのでもっと、若い経営者が集まる集まりはないかと考えていたところ、青年会議所と商工会議所青年部よりお誘いをいただき

例会報告

ました。両方はさすがに入っていられないので、諸先輩のアドバイスを聞いて、商工会議所青年部に入れていただきました。農協青年部とは雲泥の差で異業種というのものもあるかもしれませんがとても建設的な意見や年齢を関係なく一経営者として対等にそれぞれが尊重しあって活動しておりよい会に入れてもらったと思えました。また、普段は県外をターゲットに営業をしていましたが、高山YEG入会を機会に高山内での営業も始め少しづつではありますが高山内でも取扱量が増えています。そして、今年、高山西ロータリークラブの会員の方からロータリーっていうのがあるから入ってみないかと誘われ今に至ります。まだまだ、入ったばかりで聞き慣れない単語や行事が多々あり戸惑うばかりではありますが徐々に慣れて行きたいと考えております。現在高山西ロータリー最年少で若輩者ですが今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしく願います。

ご静聴ありがとうございました。



我がクラブの 国際青少年交換の歴史 伊藤 松寿

本クラブは、1972年から1999年に亘る約27年間に亘る交換学生・受入、派遣の実績があります。派遣は、12名、受入は11名という輝かしい歴史があります。

確かに、このプログラムは、多くの人々（ホスト家庭はもちろん）や、受入の高校等々、相当なエネルギーが必要でもあります。しかしながら、この交換によって得られるものは、はかりしれないものがあります。

私の家庭では、5名の学生のホームステイを受け入れました。中でも1989～90年度交換学生のステシーとはウマが合い、8/10の会報に寄稿させていただきました通り、親しく交流を続けています。

今後、周到な計画と粘り強い努力によって再び、青少年交換の火がおこってくることを期待しています。

<ニコニコボックス>

●折茂 謙一さん

昨日は堀川さんはじめ増強委員会の皆様ご苦労さまでした。鴻野さん、有難うございました。

●米澤 久二さん

ゆかた例会では門前委員長さんはじめ親睦委員会の皆様ありがとうございました。本当に楽しい会でした。本日は山藏さん、新会員スピーチよろしく願います。

●阪下 六代さん

今月はまだ一度もニコニコを出していないので、気が咎めました。

●小田 博司さん

気候変動、思想対立、国家対立、政治混迷、南極圏の水は解氷するも商売はさっぱり。夫婦間も氷河期へと夢の乏しい情勢でも、ロータリークラブは夢あるクラブへの歩みを。パチンコ夢屋で占うも???妻の誕生日に花束の贈呈があるようです。関係改善のきっかけとなることを祈りお礼を一言。

●下屋 勝比古さん、

お盆期間中ブルガリアで世界ボート選手権大会に参加して来ました。ロンドン五輪のメダルを首にかけてもらったりしました。ゆかた例会欠席ですみませんでした。

●井辺 一章さん

8/23、24と大変暑い日を選んだ様に自衛隊の火力演習を見に行ってきた。戦車やヘリを見て、こんな事では今のミサイル戦争に勝つ事は難しいと思って帰ってきました。

●塚本 直人さん

夏休みも終わりが近づき、子どもたちも宿題の仕上げをしております。そんな中娘が水泳検定で「2.5m泳げた」と喜んで帰宅しました。お父さんの前日のレッスンの成果が出て、親として嬉しかったのでご報告します。

●田中 武さん、齋藤 章さん

8/5、ソフトミニバレー選手の皆様、ご苦労様でした。応援に行きましたが惜敗でした。次回は必ず優勝して下さい!!

●門前 庄次郎さん、垣内 秀文さん、堺 和信さん、東 庄豪さん、大村 貴之さん、塚本 直人さん、小瀬 真之介さん

8月10日の「ゆかた例会」には、沢山の方に出席していただき有難うございました。お陰様で、皆さんの笑顔の中で無事終わった事に感謝申し上げます。段取り不足のところがあったかもしれませんが、親睦委員会の一生懸命さに免じてご容赦願いたいと思います。来年の事を言うとう鬼が笑うと言いますが、次回は「新年例会」でございます。また皆様の協力をお願いいたします。

●小森 丈一さん

浴衣例会では親睦委員の皆様、ご苦労さまでした。ジャンケンでお酒を勝ち取りましたので。

●田中 正躬さん

ゆかた例会では楽しい時間ありがとうございました。親睦委員の皆様、ご苦労様でした。今日は都合により早退します。

●一期一会

●思い出

●新田 敬義

私は昭和41年頃、三菱ふそうトラック・バスのディーラーに在籍しておりました。平湯峠から乗鞍の畳平まで未舗装路の約20kmの間、全国より来る三菱の観光バスが登ったら必ず降りる為のメンテナンスをしておりました。不具合を早急に判断、応急的に処理か?代替え車を手配か?緊張する一瞬でした。その一方、自分の位置より下にある雲海、また岩肌に生えるハイマツの美しさに感動したものです。瞬時の判断、決断はその後の人生に影響を与えました。

奉仕を通じて平和を